平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月12日

上場会社名　チタン工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4098　URL　http://www.titankogyo.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 松川　正典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 重永　俊雄　TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日　平成24年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,697	△20.8	62	△84.5	23	△93.9	733	97.4
24年3月期第2四半期	3,405	16.0	400	150.6	377	189.0	371	256.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	24.36	―
24年3月期第2四半期	12.34	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,542	5,204	45.1
24年3月期	11,788	4,596	39.0

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　5,204百万円　24年3月期　4,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	3.00	3.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	△9.2	130	△75.9	70	△86.2	800	59.5	26.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	30,276,266 株	24年3月期	30,276,266 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	164,656 株	24年3月期	162,476 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	30,112,812 株	24年3月期2Q	30,118,515 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1)経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2)財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3)業績予想に関する定性的情報 …… 2

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2

３．四半期財務諸表 …… 3
(1)四半期貸借対照表 …… 3
(2)四半期損益計算書 …… 5
(3)四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 6
(4)継続企業の前提に関する注記 …… 7
(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
(6)セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1)経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興関連需要などにより、緩やかながら回復の動きがみられましたが、欧州の債務危機問題、中国経済の成長鈍化及び円高の長期化など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は、新規事業の規模拡大並びに新製品及び既存製品の拡販に全力を傾注し、持続的な成長の実現に向けて懸命に取り組んでまいりました。

その結果、新製品の新規採用及び既存製品の用途展開による出荷数量の増加などの成果をあげることができましたが、タイの洪水被害の長期化、欧州の景気後退及び電気自動車の普及の遅れなどの影響により、当第２四半期累計期間の売上高は、前年同期を下回る2,697百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

一方、損益面につきましては、売上高の減少、生産数量の減少に伴う設備稼働率の低下及びチタン酸リチウムの増産投資に伴う減価償却費などの固定費負担の先行により、営業利益は62百万円（前年同期比84.5%減）、経常利益は23百万円（前年同期比93.9%減）となりました。また、特別損失として、たな卸資産評価損及び投資有価証券評価損などを計上いたしましたが、チタン酸リチウムの増産投資に対する経済産業省の補助金収入を特別利益に計上いたしましたので、四半期純利益は733百万円（前年同期比97.4%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

（酸化チタン）

高付加価値品の超微粒子酸化チタンにつきましては、新製品の開発と拡販に注力いたしました結果、新製品の新規採用などの成果をあげることができましたが、既存製品はタイの洪水被害の長期化及び欧州の景気後退による一部ユーザーでの生産調整の影響を受け、出荷数量が減少いたしました。また、新規事業のチタン酸リチウムにつきましては、電気自動車の普及が遅れている影響により、出荷数量が減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,665百万円（前年同期比28.1%減）となり、既存製品の設備稼働率の低下及びチタン酸リチウムの増産投資に伴う減価償却費などの固定費負担の先行により、営業利益は37百万円（前年同期比88.3%減）となりました。

（酸化鉄）

酸化鉄につきましては、鋭意、拡販に注力いたしました結果、既存製品の用途展開による出荷数量の増加などの成果をあげることができましたが、トナー向け新製品は欧州の景気後退による一部ユーザーでの生産調整の影響を受け、出荷数量が減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,009百万円（前年同期比4.2%減）となり、設備稼働率の低下や原燃料価格の高騰などにより、営業利益は14百万円（前年同期比77.2%減）となりました。

(2)財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、現金及び預金、受取手形及び売掛金、仕掛品の増加などがあったものの、商品及び製品、原材料及び貯蔵品、投資有価証券の減少などから、当第２四半期会計期間末11,542百万円と前事業年度末と比べて246百万円減少いたしました。

負債につきましては、未払法人税等の増加などがありましたが、支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金の減少などから、当第２四半期会計期間末6,337百万円と前事業年度末に比べて854百万円減少いたしました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少があったものの、利益剰余金の増加などから、当第２四半期会計期間末5,204百万円と前事業年度末に比べて608百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間におきましては、仕入債務の減少、有形固定資産の取得による支出、短期借入金の返済による支出、長期借入金の返済による支出などの資金減がありましたものの、税引前四半期純利益計上、減価償却費、補助金収入などの資金増によりまして、前事業年度末に比べて72百万円増加（前年同四半期累計期間は355百万円増加）しており、資金の残高は960百万円となりました。

(3)業績予想に関する定性的情報

第２四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、予想数値を修正しております。詳細は本日（平成24年11月12日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の見通しにつきましては、売上高は5,500百万円、営業利益は130百万円、経常利益は70百万円、当期純利益は800百万円を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
(1)四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	888	961
受取手形及び売掛金	1,164	1,202
商品及び製品	1,434	1,357
仕掛品	400	438
原材料及び貯蔵品	591	558
その他	132	34
流動資産合計	4,612	4,553
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,213	1,535
機械及び装置（純額）	2,187	4,011
その他（純額）	2,899	645
有形固定資産合計	6,300	6,192
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	495	417
その他	388	388
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	873	794
固定資産合計	7,175	6,988
資産合計	11,788	11,542
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	689	514
短期借入金	1,100	900
1年内返済予定の長期借入金	378	542
未払法人税等	14	77
賞与引当金	71	71
その他	887	534
流動負債合計	3,142	2,640
固定負債		
長期借入金	2,821	2,482
退職給付引当金	895	905
資産除去債務	3	3
その他	329	305
固定負債合計	4,049	3,696
負債合計	7,192	6,337

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	766	1,409
自己株式	△30	△31
株主資本合計	4,471	5,113
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	124	91
評価・換算差額等合計	124	91
純資産合計	4,596	5,204
負債純資産合計	11,788	11,542

(2)四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	3,405	2,697
売上原価	2,602	2,230
売上総利益	802	467
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	49	51
賞与引当金繰入額	8	9
退職給付引当金繰入額	4	4
研究開発費	99	101
その他	240	238
販売費及び一般管理費合計	402	404
営業利益	400	62
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	5
不動産賃貸料	3	3
その他	8	4
営業外収益合計	19	14
営業外費用		
支払利息	28	36
その他	14	17
営業外費用合計	43	53
経常利益	377	23
特別利益		
補助金収入	－	961
特別利益合計	－	961
特別損失		
固定資産除却損	3	8
投資有価証券評価損	－	20
たな卸資産評価損	－	155
特別損失合計	3	184
税引前四半期純利益	374	800
法人税、住民税及び事業税	2	67
法人税等合計	2	67
四半期純利益	371	733

(3)四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	374	800
減価償却費	188	267
賞与引当金の増減額（△は減少）	11	0
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△47	10
受取利息及び受取配当金	△7	△6
支払利息	28	36
その他の営業外損益（△は益）	△1	2
有形固定資産除却損	3	8
その他の特別損益（△は益）	－	△941
売上債権の増減額（△は増加）	△235	△37
たな卸資産の増減額（△は増加）	△110	71
仕入債務の増減額（△は減少）	206	△148
未払消費税等の増減額（△は減少）	24	117
小計	435	180
利息及び配当金の受取額	7	6
利息の支払額	△26	△20
法人税等の支払額	△5	△5
その他	11	△9
営業活動によるキャッシュ・フロー	422	152
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△33	△574
投資有価証券の取得による支出	－	△0
貸付金の回収による収入	1	－
補助金収入	252	961
その他の支出	△1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	218	386
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	－	△200
長期借入金の返済による支出	△219	△175
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△60	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281	△466
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	355	72
現金及び現金同等物の期首残高	622	887
現金及び現金同等物の四半期末残高	977	960

(4)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6)セグメント情報等

前第２四半期累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注1)	合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,315	1,054	3,369	36	3,405	－	3,405
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	2,315	1,054	3,369	36	3,405	－	3,405
セグメント利益（営業利益）	321	65	386	14	400	－	400

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第２四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他(注1)	合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,665	1,009	2,674	23	2,697	－	2,697
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	1,665	1,009	2,674	23	2,697	－	2,697
セグメント利益（営業利益）	37	14	52	9	62	－	62

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

以上